

氏名()様

経皮的冠動脈形成術 予定表

項目	入院日(治療前日)	治療前	治療後	治療後1日目	退院日(治療後2日目)
到達目標	1.検査・治療前の心身の準備ができる 2.治療の経過が理解できる		1.安全に計画通りに検査できる 2.疼痛のコントロールができる 3.出血や血腫などの合併症を起こさない。		1.検査、治療の結果が理解できる 2.退院後の生活が理解できる
治療・検査	・採血、尿検査、心電図、レントゲンなどがあります。	・検査室は1階です。順番がきたら、寝たまま検査室へ行きます。	・検査室から寝たまま帰ります。ベッドへの移動は看護師が行います。	・必要に応じて、採血や心電図、レントゲンがあります。 	
薬剤(内服薬・点滴)	・化膿止めの飲み薬があります。検査当日の朝から飲み始めます。通常、3日間で飲み終わります。 ・問診の結果、必要であれば化膿止めの薬が使えるか調べる注射をします。 ・飲み薬が変わるときは、看護師から説明があります。	・朝7時に朝の薬を飲んで下さい。 ・朝7時に看護師が背中に心臓の貼り薬を貼ります。 ・中止する薬は() ・検査室で点滴を始めます。	・病室に帰ってきてから翌朝まで、点滴は続けます。 ・昼と夕の薬はいつも通り飲んで下さい。ただし、飲む時間が大幅にずれてくる場合は、看護師に声をかけて下さい。	・前日に背中に貼った貼り薬をはがします。 	
処置	・足の付け根の毛を剃ります。	・朝6時頃に血圧と体温を測ります。 ・下着は全て外し、長衣に着替えて下さい。 ・靴下は脱いで下さい。 ・女性の方は検査室前に尿の管を入れます。 ・男性の方は検査前に、尿の袋をつけます。必要であれば、尿の管を入れます。	・病室に戻ってきたら、心電図モニターをつけます。 ・尿の管を入れた場合、検査のみであれば安静が終わり次第、抜きます。治療をされた場合は翌朝に抜きます。	・特に問題なければ、朝食後に点滴や尿の管を抜きます。 心電図モニターも外します。	
食事	・消灯をすぎたら、食べる事ができません。 ・水分(水、お茶)は飲むことができます。	・朝7時以降は水分(水、お茶)も飲むことができません。 	・水分(水、お茶)は帰ってきてからすぐに寝たまま飲みます。 ・昼食は食べられません。 ・夕食は寝たまま食べます。いつもの量の半分の量になります。	・食事はいつも通り食べられます。	
活動・リハビリ 安静	・病院内は自由に動けます。 ・担当の医師の指示で、活動が制限されることがあります。		・病室に帰り、順調にいくと4時間の臥床安静です。 ・臥床安静中は、看護師が体の向きをかえます。 ・足を動かしてはいけませんので、安全ベルトで足を固定させていただきます。 ・4時間経過後、医師の許可があれば、翌日の朝食後まではベッド上での安静となります。ただし、刺した方の脚は曲げないようにしましょう。 ☆状態により安静時間が変更する場合があります。	・朝の検温で、特に問題がなければ歩行できます。	・2週間は走らないでください。 
清潔	・毛を剃った後にシャワーに入ります。	シャワーに入ることができません。		・(/)から、お風呂やシャワーに入ることができます。 ・入れない期間は、蒸しタオルをお渡しします。	
排泄	・トイレに行くことができます。	・検査前に、トイレ(排尿)に行った最後の時間をお尋ねします。	・必要に応じて便器やオムツを使用します。	・トイレに行くことができます。	
患者様、ご家族様へ説明・指導	・医師が検査について説明します。家族の方と一緒に聞いて下さい。 ・看護師が検査の流れと注意点を説明します。 ・検査に必要な物:バスタオル2枚、薬のみまたはストロー ・看護師が「心臓と友だち」のパンフレットをお渡しします。 ・必要であれば、栄養指導、服薬指導を入院期間中に行います。栄養士と薬剤師が行います。	・家族の方は、お部屋が6階の食堂でお待ちください。 	・胸の痛み、吐き気、冷汗、生あくび、腰や背中や足の痛みなど気分が悪いときは、すぐにナースコールを押して下さい。 ・歩けるようになったら医師が検査結果を説明します。 ・安静が終了して歩き始めた後にも、針を刺した部位から出血する可能性があります。痛みが出たり、絆創膏に血がにじんできたり、腫れてくることがあれば、すぐにナースコールを押して下さい。	・入院中に医師が治療や結果の説明をします。家族の方とお聞きください。	・看護師による退院指導があります。「心臓と友だち」のパンフレットは退院後も活用して下さい。 ・治療をされた場合、治療から1週間経つまでは、お腹に力が入るような動作は控えましょう。

※ これはあくまでも予定です。変更する場合がございます。

国立病院機構 長崎医療センター

05-a-08